

かわむらしんじょうあと  
河村新城跡

山北町 No.15 遺跡



1. C9 堀



2. C1 橋



3. C3 堀



4. C7 掘立柱建物跡

● 主な調査成果

山城は全国に多数ありますが、発掘調査によって、全体的な様子が判明している中世城郭は多くはありません。その点、河村新城は山頂部分を中心とした掘立柱建物群、堀、城内に通じる橋や門跡が検出されました。山頂の主郭から搦め手(裏口)付近までが発掘調査によって推定されつつあります。堀は横堀および縦堀を配置してあります。堀の断面は逆台形あるいはV字形をしており、堀底に堀障子と呼ばれる障壁が設けられた堀もあります。

出土遺物は土器や舶載磁器、鉄砲玉といった、食膳具や貯蔵具、武器など多彩です。後北条氏の城館構造を知る上で重要な成果が得られました。

- 調査期間 2018年12月17日～調査中
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、縄文
- 所在地 足柄上郡山北町川西
- 遺跡位置 JR御殿場線谷峨駅の北西約1.6kmの丘陵上

